

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	サンクスラボ・アフタースクール八反田		公表日		令和7年3月14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペースによって使い方が分けられるので学年別や来所時間が違っててもひとりひとりが集中して取り組めるスペースを区分けしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		利用人数に応じた配置を検討し、不足のない状態を維持するため事業所内確認を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		物品に対しての構造化は行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃に加え、清潔環境を整えるようにしている。活動に応じた空間となっている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		申し出をすることで各部屋の使用を可能としている。クールダウンや状況に合わせて個別の部屋の使用を認めている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に会議を行い役割の認識等のすり合わせを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年行っており、評価結果により改善を図れている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的なMTG、朝礼、昼礼、夕礼を設定しており、意見交換や情報共有が行われている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	社内のコンプライアンス部署による評価を実施している。	第三者による外部評価の実施を検討し、業務改善に繋げていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に内部研修があり、参加しレポートを提出している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムについては日頃より職員間で検討、改善を行っている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の情報共有を行い、計画に反映させられるようにしている。保護者からのニーズの聞き取り、アセスメントにて支援計画の作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員間で支援計画についての会議を行い共通理解、支援を実施している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容の共有を適宜行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察中心にアセスメントが行われている。行動観察を児童の情報シートを使用して記録を残している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		項目は設定されている。支援会議を設け、職員同士で情報交換や意見を出して検討している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員会議にて意見・アイデアを出し合いプログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員会議にて新しい活動を出し合い、固定化しないよう改善を図っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		ひとりひとりに合ったプログラムを設定し活動を設定している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼、昼礼時に支援の内容、役割分担について打ち合わせを行い、支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		夕礼でその日の支援の振り返りを行い、気づきや情報の共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援記録を残し、療育内容の検討、改善に取り組んでいる。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		日々の職員会議にて支援が十分であるか、適切であるかどうかを話し合っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		4つの基本活動を織り交ぜ、かつ子どもたちが楽しみ学びになるような活動、支援を提供している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		行動する際に児童の気持ちに寄り添い、選択を尊重できる対応を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童の担当者が同席し、情報の共有を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		専門職が医療機関に同行するなどを行っている。	支援力向上のため連携体制を充実させる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校からの行事プリントや保護者との連絡にて適切に行っている。担当者会議等の場にて行っている。送迎時のトラブルについては電話連絡等で行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		書面にて情報を共有してもらい、利用開始前に事業所内で情報共有を行っている。	保護者や連携機関との情報共有を行っている。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		児童の情報は日々職員間で共有、整理を行っており、面談時には保護者に伝えられるようにしている。	現時点でそのような事例がないため、今後に向けて準備を整えていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		実施できていない。	今後は連携できるよう体制構築を進めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			保護者、子どもの意見に沿い、必要に応じて取り組み実施、連携体制の場を設けていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			参加できていないため、今後積極的に機会を設定していく。

保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や定期的な面談の際に情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	保護者懇親会やA型事業所の見学を実施している。	今後は保護者懇親会の実施を予定しており、より一層情報提供できる機会を増やしていく予定である。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学時、契約時、また必要に応じて説明を実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		家庭での様子、学校での様子を聞き取り、それらの情報のもと計画を立てている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		責任者が面談時、支援計画内容の説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		送迎や面談の際に応じ助言を行い、他職員とも共有している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者懇親会を設定し、保護者同士の交流を設ける場を提供している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		職員間で情報共有をし、迅速に対応するよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に事業所内の新聞発行、インスタグラムやLINEなどのSNSにて情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報は鍵付きキャビネットで保管している。事業所内新聞発行の際も個人情報が流出しないよう注意をしている。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		現在配慮が必要である事案はないが、今後配慮が必要になった場合を想定し、体制検討を行っていく。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	実際にはまだ行ってはいないが、地域の方が参加しやすいような開かれたイベントを実施したいと考えている。	今後実施を検討していく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		ファイリングしマニュアル周知していく。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画を策定し、児童とともに訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時情報として情報を収集している。変更があった場合にも随時保護者に確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		調理活動では成分表の確認や保護者への確認を行っている。おやつ等ではアレルギー成分が入っていないものをできるだけ選択している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に必要に応じて研修が行われている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	日頃より室内外の安全確認や外部による設備の点検等を行っている。	安全の確保はされているが、家族への周知が行き届いていない可能性もあるため、今後より丁寧に情報提供を実施していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		情報共有をし、その都度対策を話し合い対策している。	

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の研修については会社全体の研修として定期的に行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束についての研修は会社全体の研修として定期的に行っている。	